公社等外郭団体改革進行管理表

公　社　名	公益財団法人四万十川財団		主管課名	自然共生課
役　割	四万十川の保全及び流域の振興を目的とした景観及び生物資源の保全並びにその啓発事業等の実施			
改革の方向性	・団体の今後の在り方検討 ・健全経営の確保	主な事業内容	1　四万十川の清流、景観及び生態系保全に関する事業 2　四万十川流域の森づくりに関する事業 3　四万十川及び四万十川流域に関することを全国発信する事業 4　人づくり及び保全活動支援に関する事業 5　四万十川流域の歴史及び生活文化の保全に関する事業 6　四万十川流域の振興に関する事業 7　前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業	

令和7年度までの取組実績	経営課題等
1　四万十川流域文化的景観連絡協議会を開催(年12回実施)し、文化的景観の整備計画等に関する情報や意見交換、流域連携しての事業を実施した。昨年度から行っている流域市町の整備計画の改定作業については、計画通りに完了した。また、整備計画改定と並行して、流域で連携しながら文化的景観の普及啓発の仕組みをつくる文化的景観流域連携普及啓発事業を行い、各市町で地元住民を対象にしたワークショップを開催した。 2　「四万十川条例」に基づく清流基準（水生生物調査、清流度観測等）などに係わる環境学習会の開催等環境保全活動を実施した。令和7年度は具同小学校他22団体で学習会を開催した。 3　機関誌「清流通信・四万十川物語」を取材・編集して、毎月（25日前後）情報発信をした。送信先は、国・県・市町村・マスコミ・旅行会社・四万十川財団会員などで、約898件（メールマガジン：令和８年３月末現在）の送信をしている。フェイスブックは、フォロワー数3,873人と毎年増加しており、Instagramのフォロワーは954人である。 4　委嘱した「四万十リバーマスター」（114名）による観光客への四万十川ルールの周知を通じて、来訪者の保全意識の醸成を行った。また、令和３年度から「四万十川大人塾」と銘打って、四万十リバーマスターを講師に四万十川に残る川文化の継承を図る事業を行っている。 5　四万十リバーマスターの知識及びスキル向上のために「四万十川研究室」と題して勉強会を行っている。令和7年度は、カードゲーム「moritomirai（モリトミライ）」を行いなら、森林に関する“あるある”の課題を疑似体験し、解決に向けてみんなで考えながらゲームを行った。第２部では、ゲームを通して得た気づきや学びを発表してもらい、その成果をグラフィックレコードとして残した。 6　事務局長を公募することにより、平成25年４月から県職員派遣を見直し、流域市町村主体の体制に移行した。 7　平成25年４月１日　公益財団法人へ移行。 8　平成27年４月１日　収益事業を廃止 公益事業の事業変更 （四万十川ガキ事業の追加等） 9　平成31年４月１日　清流の森づくり支援事業を廃止 10　令和３年３月12日　公益事業の事業変更（四万十川一斉清掃支援事業の廃止等） 11　令和６年３月27日　公益事業（四万十ブランド認証事業）を廃止	1　重要文化的景観選定後の広報と推進体制づくり 2　四万十川基金の積増しによる自己資金の充実並びに基金を活用した事業の推進 3　財団と住民組織、グループ等とのネットワーク化の推進 4　目に見え、かつリーディングな取組みとして評価され得る事業、活動等の展開及び情報発信 5　流域市町や民間団体等の清流保全意識の高揚と事業、活動等への自主的、主体的な参加の促進 6　財政状況を踏まえた効果的効率的な事業の実施

【令和8年度以降の取組方針】

1　重要文化的景観を地域活性化に活かしていくため、四万十川流域文化的景観連絡協議会のメンバーに各市町の観光・商工部門の担当者も交えて、流域の地域資源の活用や地元ガイドの養成等について検討する。
2　財団の自主財源を確保するため、四万十川流域の自然環境、景観の魅力を積極的に全国発信することで、関心のある企業・団体等からの協賛・寄附金活動及び財団会員の募集活動を行う。また、外部から問合せに対応するため、四万十川の現状把握の調査・データ収集を行う。
3　「四万十川すみずみツーリズム連絡会」を通じて、引き続き、流域内の農家民宿や体験施設などが一体となった観光客の受入体制の強化及び、集客のための情報発信手法等、農家民宿経営者の資質向上を支援する。
4　今後の財団の運営のあり方について考えるため、流域５市町と県も交えた検討会を随時開催し、新たな活動の展開を検討していく。また、日本一ともいわれる四万十川の生物多様性の保全のための方策検討を引き続き行う。
5　水質保全への取り組みや環境学習を推進し、清流保全への流域住民の意識の醸成を図る。また、四万十川流域の一部に属する愛媛県と愛媛の流域市町（鬼北町、松野町、宇和島市)との連携を図り、清流保全に向けた具体的な取り組み活動に結びつけていく。
6　事業の情報発信強化のため、ホームページの掲載情報の拡充を行う。
7　子供達の川遊びを広げていく目的で、水辺の安全を確保する事業を、ハード・ソフト両面で進めていく。